Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kanto Regional Development Bureau.

令和7年2月4日 国土交通省関東地方整備局 日光砂防事務所

講演会 天然ダムと五十里洪水(いかりこうずい)

~五十里洪水(いかりこうずい)から300年。過去から学ぶ災害リスク~

近年、頻発化・激甚化する様々な自然災害。それは、日光においても例外ではなく、過去には「五十里洪水(いかりこうずい)」という大きな災害がありました。それから300年を経た今、過去の災害から学び、将来に備えることが大切な命を守ることにつながります。広く地域住民の皆様を対象に、防災知識の普及・啓発を通じて、自然災害による被害の防止・軽減を図ることを目的に、本講演会を開催します。

- 1. 日 時 令和7年2月20日(木) 13:30~16:00 (開場 13:00)
- 2. 会 場 ライトキューブ宇都宮 (大会議室 2 0 1)
- 3. 定 員 200名(事前申込制)及びWEB配信
- 4. 講演者 お笑いタレント 赤プル (あかぷる)

「赤プル流防災あるある講座」

宇都宮大学 農学部 教授 山本美穂(やまもとみほ)

「宇都宮城下町への洪水到達ルート 一西鬼怒川・御用川を辿る-|

常磐大学 人間科学部 教授 平野哲也(ひらのてつや)

「五十里湖の出現と五十里村の暮らしの再建し

日光砂防事務所 事務所長 木下篤彦(きのしたあつひこ)

「最新技術で明らかとなった五十里洪水のメカニズム|

※報道関係者様へ

取材を希望される場合は、2月18日(火)16時までに下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ 日光記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 日光砂防事務所

電話:0288-54-1191 (代表) メールアドレス:ktr-nikko@mlit.go.jp

副 所 長 工藤 (内線:204) 事業対策官 石北 (内線:531)

五十里洪水から300年。過去から学ぶ災害リスク

講演会

近年、頻発化・激甚化する様々な自然災害。それは、日光においても例外ではなく、過去には 「五十里洪水」という災害により大きな被害がありました。災害から300年を経た今、過去の 災害から学び、将来の災害に備えることが大切な命を守ることにつながります。広く地域住民の 皆様を対象に、防災知識の普及・啓発を通じて、自然災害による被害の防止・軽減を図ることを 目的に、本講演会を開催します。

2月20日(木) 13:30~16:00 (開場13:00)

会場

ライトキューブ宇都宮(大会議室201)

アクセス: JR 宇都宮駅東口改札口から徒歩2分

※会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用のうえ、ご来場ください。

200名(事前申込制)

※下記に記載の二次元コードからお申し込みください



講師

赤プル

(お笑いタレント)

茨城県常総市出身。テレビやラ ジオで活躍する一方、常総市が 甚大な被害を受けた 「平成 27 年9月関東・東北豪雨」をきっ かけに防災士認定を取得。講演 活動や防災イベントを通じて事 前の備え、市民目線での防災意 識の大切さを伝えている。



山本 美穂

(宇都宮大学 農学部 教授)

熊本県出身。九州大学卒業後、 民間企業勤務を経て、同大大学 院にて博士課程修了。1999年 北海道大学助手、2004年宇都 宮大学助教授、2013年同大学 教授。専門分野は森林政策学。 研究テーマは、分権的森林管 理、山村定住条件の確保、農林 業の土地問題、

人工林資源の 有効利用。

平野 哲也

(常磐大学 人間科学部 教授)

筑波大学大学院にて博士課程 修了後、栃木県立高校の教諭を 経て、2010年栃木県立文学館 指導主事、2014年常磐大学准 教授、2019年同大学教授。 専門分野は日本史学(近世史、 村落史、生業史)。研究テーマ は、日本近世史、村落史、生業



木下 篤彦

(日光砂防事務所 所長)

山口県出身。京都大学卒業後、 同大大学院にて博士課程修了。 2005年北陸地方整備局入省。 国土技術政策総合研究所、国立 研究開発法人土木研究所で合 計10年間研究職に従事。 2023年より日光砂防事務所事 務所長就任。



講演会公式 HP ▶



: 国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

国立大学法人 宇都宮大学